

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築				補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
1	かわかみさ (主)川上佐 くせん 久線 かいげ 海瀬 (佐久穂町)	道路築造工 L = 1400m W = 6.0(9.75)m (工期: H23 ~ H29)	測量設計1式 用地測量1式	用地補償1式 構造物詳細設計 1式	道路拡幅工 L = 1400m	評価時 (変更) H24	8%	計画どおり進んでいる。 用地補償を順次進める。	生徒児童の通学路の 安全確保を図るととも に、国道141号を補完 する幹線道路網の構 築のため継続して事 業を実施したい。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H24変更: 歩道幅員1m増、工期3年減 測量設計での事業内容の精査による。 佐久穂町統合小中学校関係事業					
						重要性 B	B/C(費用対効果)=2.3					
						効率性 B	住民参加状況等 特になし					
	3億8000万円	3321万5千円	1億円	3億4678万5千円	緊急性 A							
2	かりやどこ (一)借宿小 まるせん 諸線 あいわけびがし 追分東 (軽井沢町)	道路拡幅工 L = 190m W = 6.0(9.75)m (工期: H23 ~ H25)	測量設計1式 用地測量1式	道路拡幅工 L=50m	道路拡幅工 L=210m	評価時 (変更) H24	13%	計画どおり進んでいる。 用地買収をし、H24から道路拡幅工を実施す る。	円滑な交通を確保す るために早期に整備 を図る必要があるた め、継続して事業を 実施したい。	必要性、緊急性が認 められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 H24変更: 測量設計での事業内容の精査により、道路拡幅工 L=70m増、事業費2,000万円増、工期4年減					
						重要性 C	B/C(費用対効果)=5.9					
						効率性 A	住民参加状況等 特になし					
	1億円	1559万8千円	5000万円	8440万2千円	緊急性 A							
3	かりやどこ (一)借宿小 まるせん 諸線 ひとつや 二ツ谷 (小諸市)	道路拡幅工 L = 670m W = 6.0(9.75)m (工期: H23 ~ H27)	測量設計1式 用地測量1式	用地補償1式	道路拡幅工 L=670m	評価時 (変更) H24	13%	計画どおり進んでいる。 用地補償を順次進める。	国道141号の4車線 化による交通量増加 に対して、早期に歩行 者の安全確保と円滑 な交通確保を図る必 要があるため、継続し て事業を実施したい。	歩行者の安全確保 のため、整備の必要 性が認められる	「継続」	
						必要性 B	特記事項 H24変更: 測量設計での事業内容の精査により、L=40m増、事業 費1億円増					
						重要性 C	B/C(費用対効果)=2.2					
						効率性 A	住民参加状況等 特になし					
	3億円	1273万1千円	2000万円	1億8726万9千円	緊急性 B							

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	(一)小諸中込 せん 線 ひがしやま 東山 (小諸市)	道路拡幅工 L = 330m W = 6.0(10.0)m (工期: H16 ~ H25)	休止	休止	道路拡幅工 L = 160m	評価時 (変更) H24	30%	墓地が未相続のため用地買収に日数を要している	J R乙女駅へのアクセス道路、地域住民の生活道路、通学路であるとともに、小諸市とJ R佐久平駅を結ぶ重要な路線であり、必要性、効率性も認められるが、用地買収に日数を要するため休止したい。	予定工期内での完了を図る。	「休止」
		1億8000万円	0 円	0 円	5242万4千円	必要性 B	特記事項 H24変更: 用地買収困難のため事業休止、工期1年延長	B/C(費用対効果)=1.3			
						重要性 C					
						効率性 A					
緊急性 B	住民参加状況等 特になし										
5	(一)牛鹿望 つきせん 月線 ほそや 細谷 (立科町)	道路拡幅工 L = 80m W = 6.0(9.75)m (工期: H23 ~ H24)	測量設計1式 用地測量1式	道路拡幅工 L=80m	道路拡幅工 L=80m	評価時 (変更) H24	17%	計画どおり進んでいる。 H24に用地買収をし、道路拡幅工を実施する。	局所的な狭隘区間について、早期に歩行者の安全確保と円滑な交通確保を図る必要があるため、継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		2703万円	503万円	2200万円	2200万円	必要性 B	特記事項 H24変更: 委託費の精査により事業費297万円減	B/C(費用対効果)=3.3			
						重要性 B					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし										
6	(主)諏訪白 ほこもるせん 樺湖小諸線 しらばこ高原 白樺高原 (立科町)	道路拡幅工 L = 1,800m W = 6.0(9.0)m (工期: H21 ~ H27)	用地補償1式 道路拡幅工 L=600m	道路拡幅工 L=260m	道路拡幅工 L = 1200m	評価時 (変更) H23	68%	引き続き道路拡幅工を実施する。	大型車通行量が多く観光路線でもあり、円滑な交通を確保する必要があるため継続して事業を実施したい。	円滑な交通を確保するための整備の必要性は認められる。	「継続」
		2億5000万円	7607万円	800万円	9776万6千円	必要性 B	特記事項 H23変更: 交通死亡事故の発生を受けて対策必要箇所を追加した。道路拡幅工500m増、事業費1億6000万円増、工期2年増	B/C(費用対効果)=2.4			
						重要性 B					
						効率性 B					
緊急性 B	住民参加状況等 特になし										

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
7	<small>こもるなか</small> <small>こめせん</small> (一)小諸中 込線 <small>おおつか</small> 大塚 (佐久市)	道路拡幅工 L = 220m W = 6.0(12.0)m (工期: H23 ~ H26)	測量設計1式	測量設計 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L = 220m	評価時 (変更) H24	10%	詳細設計が完了し、用地測量、用地買収を実施する。	平成22年度末供用予定の中部横断道中佐都ICのアクセス道路に位置付けられ、高速道の事業進捗に合わせ事業を進める必要があるため継続して事業を実施したい。	必要性が認められる。	「継続」
		3億円	2484万8千円	3000万円	7515万2千円	必要性 A	特記事項 H24変更: 橋梁工L=20m増、事業費2億0000万円増、事業期間1年増。				
						重要性 C	橋梁部分の設計について、比較検討の結果、既設橋梁の拡幅でなく、架け替え案が採用になったことによる。 中部横断自動車道関連事業				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=1.0				
8	<small>しもにたあさし</small> (主)下仁田浅 <small>なせせん</small> 科線 <small>さくだいらえきみなみ</small> 佐久平駅南 (佐久市)	道路拡幅工 L = 430m W = 6.5(16.0)m (工期: H22 ~ H26)	用地補償1式	道路拡幅工 L=200m	道路拡幅工 L = 430m	評価時 (変更) H24	30%	計画どおり進んでいる。用地買収が完了した区間より、H24から順次道路拡幅工を実施する。	平成22年度末供用予定の中部横断道中佐都ICのアクセス道路に位置付けられ、高速道の事業進捗に合わせ事業を進める必要がある。また事業効果をより高めるため、拡大して事業を実施したい。	事業を拡大して実施する必要性は認められる。	「拡大」
		2億9000万円	1561万4千円	7000万円	9595万6千円	必要性 B	特記事項 H24変更: L=130m増、事業費1億2,000万円増、事業期間2年増 中部横断自動車道関連事業				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=3.9				
						効率性 A					
9	<small>みよだいて</small> (一)御代田 <small>いせん</small> (停)線 <small>やかくら</small> 八ヶ倉 (御代田町)	道路拡幅工 L = 360m W = 5.5(8.75)m (工期: H20 ~ H28)	測量設計1式 用地補償1式 道路拡幅工 L=140m	用地補償1式	道路拡幅工 L = 220m	評価時 (変更) H24	40%	計画どおり進んでいる。H24は用地買収を継続し実施する。	地域住民の生活道路であり、ネック箇所の解消を図る必要があるため継続して事業を実施したい。	ネック箇所の解消であり、整備の必要性は認められる。	「継続」
		3億7000万円	8034万3千円	3000万円	2億7218万2千円	必要性 B	特記事項 H24変更: 測量設計での事業内容の精査によりL=70m延長 幅員変更6.0(10.0) 5.5(8.75)、事業費1億1千万減				
						重要性 C	B/C(費用対効果)=1.6				
						効率性 B					
				緊急性 B	住民参加状況等 特になし						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
10	(主)川上佐久線 〔南相木村・川上村〕	道路拡幅工 L=500m W=4.0(5.0)m 〔工期：H20～H25〕	用地補償 1式 用地測量 1式	道路拡幅工 L=50m	道路拡幅工 L=250m	評価時 (当初) H20	55%	計画どおり進んでいる。 道路拡幅工を順次実施する。	ローカルルール適用により、低コストで短期間に効果が発現できる。第2次緊急輸送路で生活道路でもあり、安全確保を早期に図る必要があるため継続して事業を実施したい。	重要性は認められる。	「継続」
		7000万円	429万2千円	1000万円	3217万5千円	必要性 B	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=2.3			
						重要性 A					
						効率性 A					
緊急性 C	住民参加状況等 特になし										
11	(国)152号岩井 〔長和町〕	道路拡幅工 L=200m W=6.0(7.5)m 〔工期：H23～H27〕	詳細設計 1式	用地測量 1式 物件調査 1式	道路拡幅工 L=200m W=6.0(7.5)m	評価時 (当初) H23	3%	計画どおり進んでいる。 H27完了予定	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業を実施したい。	緊急性が認められる。	「継続」
		1億円	346万5千円	990万円	9654万7千円	必要性 B	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=2.9			
						重要性 B					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし										
12	(国)152号姫木平 〔長和町〕	道路拡幅工 L=200m W=6.5(8.0)m 〔工期：H19～H24〕	道路拡幅工 L=200m	道路拡幅工 L=200m	道路拡幅工 L=200m	評価時 (当初) H19	81%	計画どおり進んでいる。 H24完了予定	本工区は、急カーブで見通しも悪いため危険である。観光客が多く、早急に安全確保が必要のため、継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		5211万7千円	3366万円	990万円	990万円	必要性 A	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=11.0			
						重要性 A					
						効率性 A					
緊急性 C	住民参加状況等 特になし										

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
13	美ヶ原線 (一)美ヶ原和 野々入 (長和町)	道路築造工 L=1260m W=4.0(6.0)m (工期: H21 ~ H25)	修正設計	道路築造工 L=200m	道路築造工 L=1060m	評価時 (当初) H21	14%	計画どおり進んでいる。 H25完了予定	観光地へのアクセス 機能の向上による地 域産業の活性化に寄 与する事業であり、1.5 車線整備の手法によ り継続して事業を実施 したい。	必要性、重要性が高 い。	「継続」
		9000万円	1.564千円	1100万円	7502万8千円	必要性 A	B/C(費用対効果)=4.2				
						重要性 A					
						効率性 A					
				緊急性 B	住民参加状況等 特になし						
14	別所丸 (主)別所丸 子線 南原 (上田市)	道路拡幅工 L=700m W=6.0(9.75)m (工期: H23 ~ H28)	詳細設計 1式	道路拡幅工 L=300m	道路拡幅工 L=700m W=6.0(10.5)m	評価時 (当初) H23	10%	計画どおり進んでいる。	生活道路としての安全 確保を図るととも に、観光地へのアクセ ス機能の向上による 地域産業の活性化に 寄与する事業である ため、継続して事業を 実施したい。	緊急性は認められ る。	「継続」
		2億円	1028万4千円	5000万円	1億8971万6千円	必要性 B	B/C(費用対効果)=5.0				
						重要性 C					
						効率性 A					
				緊急性 A	住民参加状況等 特になし						
15	傍陽管 (一)傍陽管 平線 菅平高原 (上田市)	道路改築工 L=600m W=4.0(6.0)m (工期: H23 ~ H26)	詳細設計 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=200m	道路改築工 L=400m	評価時 (変更) H24	7%	H24年度から本工事に着手する。	幅員狭小のため、安全 確保を図るととも に、観光施設へのアクセ ス機能の向上による 地域産業の活性化に 寄与する事業であ るため、継続して事業を 実施したい。	重要性が高い。	「継続」
		1億3000万円	555万3千円	900万円	1億1544万7千円	必要性 B	B/C(費用対効果)=1.5				
						重要性 A					
						効率性 A					
				緊急性 C	住民参加状況等 特になし						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
19	<small>いち まるこきた</small> <small>(一)丸子北</small> <small>みまきとうぶせん</small> <small>御牧東部線</small> <small>でんがくだいら</small> <small>田楽平</small> <small>(東御市)</small>	道路改築工 L=120m W=5.5(7.0)m (工期:H23~H24)	道路拡幅工 L=90m	道路拡幅工 L=30m	道路拡幅工 L=30m	評価時 (変更) H24	86%	計画どおり進んでいる。	生活道路としての安全確保を図る事業であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		4504万円	4104万円	400万円	400万円	必要性 C	特記事項 H24変更:事業内容の精査により、工期1年減、事業費1000万円増	B/C(費用対効果)=5.9			
						重要性 B					
						効率性 A					
						緊急性 B					
20	<small>いち みまきはら</small> <small>(一)御牧原</small> <small>おおひなたせん</small> <small>大日向線</small> <small>みまきはら</small> <small>御牧原</small> <small>(東御市)</small>	道路拡幅工 L=630m W=6.0(9.0)m (工期:H18~H24)	道路拡幅工 L=292m	道路拡幅工 L=50m	道路拡幅工 L=50m	評価時 (当初) H18	93%	計画どおり進んでいる。	広域農道千曲ビューラインの供用後、交通量が増加し、路肩狭小で線形が悪く、歩道も未整備であるため、継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		1億1200万1千円	2361万3千円	800万円	800万円	必要性 B	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=3.0			
						重要性 B					
						効率性 A					
						緊急性 A					
21	<small>まるこしんしゅう</small> <small>(主)丸子信</small> <small>しんせん</small> <small>州新線</small> <small>かまふさ まめい</small> <small>釜房~豆石</small> <small>しとうげ</small> <small>峠</small> <small>(青木村)</small>	道路改築工 L=440m W=4.0(5.0)m (工期:H23~H27)	詳細設計 1式 用地測量 1式	道路改築工 L=50m	道路改築工 L=390m	評価時 (当初) H23	13%	計画どおり進んでいる。	広域交通の幹線道路でありながら、幅員狭小で危険なため、継続して事業を実施したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
		8000万円	1537万4千円	1500万円	6462万6千円	必要性 B	特記事項 特になし	B/C(費用対効果)=1.2			
						重要性 A					
						効率性 A					
						緊急性 A					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
22	<small>かみつきのみ</small> <small>やがさきせん</small> <small>あわさわ</small> (一)上槻木 矢ヶ崎線 粟沢	道路拡幅工 L=250m W=6.0(10.0)m (工期:H23~H26)	地形測量、 路線測量1式 詳細設計1式	用地測量、 物件調査、 用地補償 1式	道路拡幅工 L=250m	評価時 (当初) H23	8%	計画どおり進んでいる。 引き続き物件調査、用地補償を実施する。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業を実施したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=3.7				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし				
	(茅野市)	2億円	595万円	4000万円	1億9405万円	緊急性 A					
23	<small>かみ ほらあ</small> <small>おやぎ せん</small> <small>あなやま おおく</small> (一)神ノ原青 柳(停)線 穴山~大久保北	道路拡幅工 L=450m W=5.5(7.0)m (工期:H17~H25)	道路拡幅工 L=82m W=5.5(7.0)m	休止	道路拡幅工 L=150m W=5.5(7.0)m	評価時 (当初) H17	70%	幅員狭小区間の拡幅が完了し一定の効果を発揮。 一部用地の取得が困難であるため、事業一時休止とする。	地元から非常に強い要望がある。周辺の状況から見て早期の効果発現が見込まれたが、一部用地取得が困難なため、休止としたい。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「休止」
						必要性 B	特記事項 H24は用地買収困難のため事業休止。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.6				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし				
	(茅野市~原村)	1億円	1098万9千円	0円	3056万3千円	緊急性 A					
24	<small>あひやま</small> <small>の せん</small> <small>こなみ じんぐう</small> (主)岡谷茅野線 湖南~神宮寺	道路拡幅工 L=240m W=6.0(12.0)m (工期:H15~H24)	道路拡幅工 L=170m	道路拡幅工 L=30m	道路拡幅工 L=30m	評価時 (変更) H24	97%	計画どおり進んでいる。 バイパス区間が完了し、現道の拡幅を実施する。	諏訪市の道路整備プログラムにも最優先整備箇所にあげられており、一方通行を解消し、交通の安全性・円滑性確保のため、継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H24変更:事業費1億1千万増				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.2				
						効率性 A	住民参加状況等 道路アダプト活動による美化活動実施				
	(諏訪市)	5億9664万8千円	7549万円	2000万円	2000万円	緊急性 A					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築				補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
25	〔富士見町〕 (一)乙事富 土見線 新田	道路改築工 L=200m W=6.0(9.5)m (工期:H23~H25)	地形測量、 路線測量1式 詳細設計1式	橋梁予備設計1 式 用地測量、 用地買収1式	道路改築工 L=200m	評価時 (当初) H23	13%	計画どおり進んでいる。 引き続き橋梁予備設計、用地測量、用地買収を実施する。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業を実施したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 C	特記事項 特になし					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.0					
						効率性 A						
	8000万円	659万4千円	2000万円	7340万6千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし						
26	(一)八島高原 せん 線 ひがしまた 東俣	待避所設置工 8箇所 L=546m W=4.0(5.0)m (工期:H15~H24)	待避所設置工 5箇所	待避所設置工 3箇所 L=246m	待避所設置工 3箇所 L=246m	評価時 (変更) H24	83%	5箇所の待避所設置が完了し、引き続き3箇所の待避所の設置を実施する。	1.5車線整備に対する地元自治体及び地域住民との合意形成も図られており、生活道路としての位置付けを考慮し継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
						必要性 B	特記事項 H24変更:区間延長66m増					
						重要性 A	B/C(費用対効果)は算定対象外。					
						効率性 A						
	1億7474万5千円	2411万6千円	3000万円	3000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし						
27	(一)与地辰 のせん 野線 は 羽場	道路拡幅工 L=350m W=9.5(15.5)m (工期:H20~H26)	道路拡幅工 L=40m	用地補償 1式	道路拡幅工 L=310m	評価時 (変更) H22	68%	物件調査が約75%終了し、用地補償を進めている。暫定ではあるが、一部工事を着手する。	地域住民のニーズが高く、国道、県道交差点の安全確保及び交通渋滞解消のため引き続き事業を継続する。	交通の円滑化及び安全確保のため、拡幅整備の必要性が認められる。	「継続」	
						必要性 B	特記事項 H22変更:工区見直し90m増、1億円増、工期延長2年					
						重要性 B	B/C(費用対効果)=4.7					
						効率性 A						
	3億円	1億1501万5千円	1109万9千円	1億2317万9千円	緊急性 B	住民参加状況等 平成20年ワークショップ開催し、住民参加による計画立案。						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
28	きたばやし (一)北林飯 島線 なかい坂 (中川村)	道路拡幅工 L=219m W=6.0(10.0)m (工期:H20~H26)	道路拡幅工 L=165m	道路拡幅工 L=219m	道路拡幅工 L=219m	評価時 (変更) H22	59%	計画どおり進んでいる。 測量設計が完了し、H22年度より用地買収を 実施後、道路拡幅工を実施する。	小学校の通学路で あり必要性が認めら れるため継続したい。	通学路の安全を確 保するため、拡幅整 備の必要性は認めら れる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H22変更:設計見直し、84m増、5,200万円増 設計見直しにより、擦りつけ部延長増となった。 B/C(費用対効果)=1.9				
						重要性 B					
						効率性 A					
	1億9210万円	8051万3千円	3900万円	5317万8千円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし。					
29	いちにし (一)西伊那 線 にゅうやま 新山 (伊那市)	道路拡幅工 L=710m W=4.0(5.0)m (工期:H17~H26)	道路拡幅工 L=45m	道路拡幅工 L=90m	道路拡幅工 L=195m	評価時 (当初) H17	77%	計画どおり進んでいる。 4工区中3工区が完了しており、H24年度は引 き続き道路拡幅工を実施する。	ローカルルールによ る計画の見直しを行 い、少ないコストで早 期に効果を発現する ことができるため、継 続して事業を実施した い。	1.5車線での整備の 必要性が認められ る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=1.3				
						重要性 A					
						効率性 A					
	1億7000万円	4118万8千円	2200万円	3235万6千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
30	(国)152号 みどか 御堂垣外 (伊那市)	道路拡幅工 L=250m W=6.0(11.0)m (工期:H22~H24)	道路拡幅工 L=208m	道路舗装工 L=250m (うち道路拡幅工 L=40m)	道路舗装工 L=250m (うち道路拡幅工 L=40m)	評価時 (変更) H24	60%	計画どおり進んでいる。 本工事に着手し、H24完了を目指す。	生活道路としての安 全確保を図るととも に、観光地へのアクセ ス機能の向上による 地域産業の活性化に 寄与する事業である ため、H24年度に完了 を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H24変更:事業内容の精査により、事業費1,800万円増 B/C(費用対効果)=1.4				
						重要性 A					
						効率性 A					
	4164万2千円	1741万2千円	1683万円	1683万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし。					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築				補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
31	<small>いちのみやまのわ</small> <small>(一)南箕輪</small> <small>さわんせん</small> <small>沢渡線</small> <small>こいでしま</small> <small>小出島</small> (伊那市)	道路築造工 L=400m W=5.5(7.0)m (工期:H22~H26)	道路拡幅工 L=50m	待避所 L=30m	道路拡幅工 L=300m	評価時 (当初) H22	17%	計画どおり進んでいる。 3工区中1工区が完了しており、H24年度は 引き続き待避所設置工を実施する。	生活道路としての安全確保を図るとともに、地域の活性化に寄与する事業であるため、継続していきたい。	安全確保のため、待避所設置の必要性は認められる。	「継続」	
		1億円	1292万3千円	1000万円	8365万円	必要性 B	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=3.7				
						重要性 B						
						効率性 A						
緊急性 B	住民参加状況等 特になし。											
32	<small>いちくまやのお</small> <small>(一)車屋大</small> <small>おくほせん</small> <small>久保線</small> <small>ひがしはるちか</small> <small>東春近</small> (伊那市)	道路拡幅工 L=340m W=6.0(9.75)m (工期:H22~H27)	道路詳細設計 L=340m	物件調査 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=340m	評価時 (変更) H24	7%	H24は用地買収を促進する。	生活道路としての安全確保を図るとともに、地域の活性化に寄与する事業であるため、継続していきたい。	歩行者の安全確保のため、整備の必要性は認められる。	「継続」	
		2億円	541万6千円	2000万円	1億8934万6千円	必要性 B	特記事項 H24変更:工期1年延長	B/C(費用対効果)=1.3				
						重要性 B						
						効率性 A						
緊急性 B	住民参加状況等 特になし。											
33	<small>いちいなこまが</small> <small>(一)伊那駒ヶ</small> <small>たけせん</small> <small>岳線</small> <small>だいぼう</small> <small>大坊</small> (伊那市)	道路拡幅工 L=520m W=4.0(5.0)m (工期:H17~H27)	道路拡幅工 L=160m	用地補償 1式 測試 1式	道路拡幅工 L=240m	評価時 (変更) H24	70%	H24は用地買収を促進する。	地元から強い要望がある。ローカルレールの適用により、少ないコストで早期に効果を発現することができる。計画熟度が高いため、継続していきたい。	円滑な交通を確保するため、追加整備の必要性は認められる。	「継続」	
		1億1000万円	1597万2千円	500万円	3970万3千円	必要性 B	特記事項 H24変更:工期2年延長	B/C(費用対効果)=1.7				
						重要性 B						
						効率性 A						
緊急性 C	住民参加状況等 特になし。											

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
37	(国)152号 分杭～北川 (大鹿村)	待避所設置 1箇所 L=40m W=5.5(7.0)m (工期:H23～H24)	測量設計 1式 調査 1式	待避所設置 1箇所 L=100m	待避所設置 1箇所 L=100m	評価時 (変更) H24	9%	計画どおり進んでいる。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業を進め、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「縮小」
		5495万円	2017万円	4950万円	4950万円	必要性 B	特記事項 H24変更:事業内容精査により2箇所減 B/C(費用対効果)=1.4				
						重要性 A					
						効率性 A					
				緊急性 C	住民参加状況等 道路の草刈りなどを住民が行うことを検討中である。						
38	(主)伊那生 田飯田線 生田 (松川町)	道路築造工 L=100m W=5.5(7.0)m (工期:H23～H24)	測量設計 1式 用地調査 1式 用地補償 1式	道路築造工 L=100m	道路築造工 L=100m	評価時 (当初) H23	83%	計画どおり進んでいる。	生活道路としての安全確保を図るとともに、幹線道路の補完道路としての役割を向上する事業であるため、継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		6000万円	5200万円	800万円	800万円	必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=5.1				
						重要性 B					
						効率性 B					
				緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						
39	(一)上片桐 (停)線 原田 (松川町)	道路拡幅工 L=140m W=5.5(8.75)m (工期:H22～H24)	道路拡幅工 L=57m	道路拡幅工 L=103m	道路拡幅工 L=103m	評価時 (変更) H23	36%	H24完了予定	町道改良に併せた道路ネットワークを形成するため、交差点部の安全確保を含め、継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		7000万円	1138万8千円	3400万円	3400万円	必要性 A	特記事項 H23変更:町道交差点部について、公安委員会との調整により、安全を確保するため、広域農道交差点区間を追加し、一体的整備を行う。 延長75m増、事業費3,000万円増、工期1年増 B/C(費用対効果)=1.2				
						重要性 A					
						効率性 B					
				緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
43	よねかわいいたせん (一)米川飯田線 おばやゆみほり 尾林上～堀 まわし 廻 〔飯田市〕	道路拡幅工 L=680m W=6.0(8.0)m 〔工期H18～H26〕	道路拡幅工 L=200m	道路拡幅工 L=200m	道路拡幅工 L=480m	評価時 (当初) H18	71%	計画どおり進んでいる。	道路整備懇談会の実施など地元で事業を熱望しており、緊急性や必要性、重要性の評価も高いため、事業継続としたい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
		3億5000万円	1億4726万7千円	3500万円	8588万5千円	必要性 C	特記事項 三遠南信自動車道へのアクセス道路 B/C(費用対効果)=1.7				
						重要性 A					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等										
44	よねかわだしなて (一)米川駄 科(停)線 ちくかいどうふ 知久街道踏 みきり 切 〔飯田市〕	道路拡幅工 L=120m W=5.5(7.0)m 〔工期：H20～H25〕	測量設計 1式	用地調査 1式	道路拡幅工 L=120m	評価時 (変更) H20	19%	JR踏切を含めた道路拡幅について、地元調整を進めている。	近くに病院や介護施設もあり交通量も多く、評価レベルも高いため、事業継続としたい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		5000万円	円	300万円	4534万5千円	必要性 B	特記事項 地権者の要望であるJR踏切の拡幅についてJR東海と協議を行い地権者の同意を得たい。 H24変更：工期2年延長 B/C(費用対効果)=4.8				
						重要性 A					
						効率性 A					
緊急性 B	住民参加状況等 特になし。										
45	したじょうよねかわ (主)下奈米川 飯田線 いいたせん 飯田線 さんこうち 三耕地 〔泰阜村〕	待避所設置工1箇所 L=350m W=5.5(7.0)m 〔工期：H23～H25〕	測量 1式 設計 1式	用地調査 1式 用地補償 1式	待避所設置工1箇所 L=350m W=5.5(7.0)m	評価時 (変更) H24	10%	計画どおり進んでいる。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業を実施したい。	重要性、緊急性が認められる。	「縮小」
		5000万円	534万3千円	500万円	4465万7千円	必要性 C	特記事項 H24変更：事業内容精査により、延長200m減 B/C(費用対効果)=1.8				
						重要性 A					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし										

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
46	<small>しゅうしだらね</small> <small>ほせん</small> <small>はね</small> <small>ちやうすやま</small> <small>茶白山</small> <small>ね</small> <small>根羽村</small>	道路拡幅工 L=700m W=5.5(7.0)m (工期:H22~H25)	道路拡幅工 L=241.1m	道路拡幅工 L=291.1m	道路拡幅工 L=444.4m	評価時 (変更) H24	31%	引き続き、道路拡幅工を実施する。	愛知県の観光地へ訪れた観光客を長野県側へ誘導するためにも必要な整備であるため、危険箇所を追加して引き続き事業を進めたい。	予定工期内での完了を図る。	「拡大」
						必要性 B	特記事項 H23変更:地元調整の結果、危険箇所整備のため、事業区間を147m延長、事業費6千万円増 H24変更:危険箇所整備追加のため、延長413m増、事業費1億1,300万円増、工期2年延長				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.5				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし				
47	<small>いらいだとみやま</small> <small>飯田富</small> <small>さくません</small> <small>山佐久間線</small> <small>うれんざわ</small> <small>宇連沢</small> <small>た</small> <small>天龍村</small>	道路築造工 L=200m W=6.0(7.5)m (うちボックスカルバート L=10m) (工期:H23~H27)	測量 1式	設計 1式	道路築造工 L=200m ボックスカルバートL=10m	評価時 (当初) H23	6%	計画どおり進んでいる。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業進捗を図りたい。	重要性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=4.5				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
48	<small>たなからんぼし</small> <small>(一)田中乱</small> <small>せん</small> <small>橋線</small> <small>くらかげとうげ</small> <small>鞍掛峠</small> <small>あ</small> <small>阿智村</small>	道路築造工 L=340m W=5.5(7.0)m (うち橋梁 L=30m) (工期:H23~H28)	道路築造工 L=120m	道路築造工 L=80m	道路築造工L=220m 橋梁工L=30m	評価時 (変更) H24	24%	計画どおり進んでいる。 中関下工区について工事中。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光施設へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業進捗を図りたい。	生活道路として安全性確保の点から必要性が認められる。 予定工期内での完了を図る。	「拡大」
						必要性 C	特記事項 県単道路防災事業と合併 H24変更:L=240m延長、工期4年延長、事業費2億2千万円増				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=1.3				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
		2億5000万円	6500万円	500万円	1億8500万円	緊急性 B					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
49	<small>しゅ まつかわ</small> <small>おおしかせん</small> (主)松川イン ター大鹿線 <small>いどりきわばし</small> 井戸入沢橋 (工期:H23~H29) (中川村)	道路築造工 L=370m W=5.5(7.0)m (うち橋梁1橋 L=68m) 〔工期:H23~H29〕	構造物設計 1式 式 地質調査 1式	道路詳細設計 1式 式 地質調査 1式	道路築造工 L=370m W=5.5(7.0)m (うち橋梁1橋 L=68m)	評価時 (変更) H24	3%	調査・測量を順次すすめる。	2年連続で落石により通行止めとなり、大鹿村にとって命の道である当路線の安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業進捗を図りたい。	重要性、緊急性が認められる。	「拡大」
		7億円	544万4千円	1500万円	6億8000万円	必要性 B	特記事項 H24変更:事業内容精査のため、L=290m増、事業費4億5千万円増、工期2年延長				
						重要性 A					
						効率性 B B/C(費用対効果)=1.1					
50	<small>しゅ てんりやひやうえん</small> (主)天竜公園 <small>あちせん</small> 阿智線 <small>こまば</small> 駒場 (工期:H23~H27) (阿智村)	道路築造工 L=600m W=5.5(7.0)m (工期:H23~H27)	測量設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	道路築造工 L=600m W=5.5(7.0)m	評価時 (変更) H24	4%	計画どおり進んでいる。	生活道路としての安全確保を図るとともに、幹線道路の補完道路としての役割を向上させる事業であるため、継続して事業進捗を図りたい。	重要性が高い。	「継続」
		5億円	1328万3千円	3000万円	3億8671万7千円	必要性 B	特記事項 H24変更:事業内容精査のため、事業費1億円増				
						重要性 A					
						効率性 A B/C(費用対効果)=7.2					
51	<small>ななこがわ</small> (主)中津川 <small>ななこそせん</small> 南木曽線 <small>まごめとうげ〜くだり</small> 馬籠峠〜下り <small>たに</small> 谷 (工期:H20~H28) (南木曽町)	道路拡幅工 L=750m W=6.0(8.0)m (工期:H20~H28)	道路拡幅工 L=98m	道路拡幅工 L=150m	道路拡幅工 L=652m	評価時 (変更) H24	15%	7箇所の改良区間があり、優先順位の高い箇所から事業を進めている。	地域の観光の大動脈であり、また重要な生活道路でもある。局部的に改良することで、効果が得られるため、事業を継続していきたい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		3億8000万円	2421万8千円	2300万円	3億2524万8千円	必要性 B	特記事項 H24変更:工期を4年延長				
						重要性 A					
						効率性 A B/C(費用対効果)=2.5					
						緊急性 B		住民参加状況等 当箇所は、旧中山道の一部併用しており、観光客も多く通行することから、地域住民と一緒に維持管理の体制を整えていく。			

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
52	(一)上松御 岳線 〔上松町〕	道路拡幅工 L=230m W=5.5(7.0)m 〔工期:H17～H24〕	道路拡幅工 L=160m	道路舗装工 L=70m	道路舗装工 L=70m	評価時 (当初) H17	96%	計画どおり進んでいる。	重要な生活道路であり、幅員狭小で事故も多発していることから、事業を継続して実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		2億8370万円	5027万5千円	1000万円	1000万円	必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=1.4				
						重要性 B					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし										
53	(一)上松御 岳線 〔上松町〕	待避所設置工7箇所 L=1100m W=4.0(6.0)m 〔工期:H21～H25〕	用地測量 1式	待避所設置工 1箇所 L=100m	待避所設置工 7箇所 L=1100m	評価時 (変更) H24	20%	待避所1箇所について、用地補償まで完了。 H24は買収済み箇所について工事実施。	当箇所は、前後に比べ極端に幅員が狭いため交通に支障をきたしている。森林セラピー基地の赤沢自然休養林へ通じる道路でもあり、特に大型バスが多いため、継続して事業を実施したい。	重要性は認められる。	「拡大」
		1億2000万円	2061万4千円	600万円	8788万6千円	必要性 B	特記事項 H24変更:現場精査により、L=700m延長、事業費6,400万円増 待避所延長の増				
						重要性 A					
						効率性 A					
緊急性 B	住民参加状況等 特になし										
54	(主)開田三 岳福島線 〔木曽町〕	橋梁架替工 L=83m W=6.0(8.0)m 〔工期:H22～H24〕	A2橋台 1基 深礎杭 3本	上部工 L=19m 道路築造工 L=83m	上部工 L=19m 道路築造工 L=83m	評価時 (当初) H22	77%	H22でA1橋台完了。 H23はA2橋台施工しH24で上部工を架設して 事業完了予定。	地域住民との合意形成が図られている。二次緊急輸送路であることから大型車通行支障箇所の解消に向けて引き続き事業を進め、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		2億2000万円	7527万7千円	4500万円	4500万円	必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=1.7				
						重要性 B					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし										

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築				補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	みりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
55	(主)開田三 岳福島線 〔木曾町〕	道路拡幅工 L=450m W=6.0(8.0)m 〔工期:H23～H27〕	用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=50m	道路拡幅工 L=450m W=6.0(8.0)m	評価時 (当初) H23	4%	H23は調査設計完了。H24は用地補償着手予定	地域住民との合意形成が図られている。二次緊急輸送路であることから大型車通行支障箇所の解消に向けて事業を継続したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 B	特記事項 特になし					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=3.4					
						効率性 A						
		2億5000万円	522万円	900万円	2億4478万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし					
56	(一)オコシ宮 ノ越(停)線 〔木曾町〕	道路拡幅工 L=910m W=6.0(8.0)m 〔工期:H23～H27〕	測量設計 1式 用地測量 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L=910m W=6.0(8.0)m	評価時 (当初) H23	3%	H23で測量設計完了。H24は用地補償を実施予定。	地域住民との合意形成が図られている。国道19号の迂回路であることから大型車通行支障箇所の解消に向けて事業を継続したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 B	特記事項 特になし					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.3					
						効率性 A						
		3億5000万円	662万7千円	2300万円	3億4337万3千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし					
57	(一)上松御 岳線 〔木曾町〕	道路拡幅工 L=738m W=6.0(8.0)m 〔工期:H23～H27〕	道路拡幅工 L=80m W=6.0(8.0)m	道路拡幅工 L=80m W=6.0(8.0)m	道路拡幅工 L=658m W=6.0(8.0)m	評価時 (当初) H23	24%	待避所1箇所について、用地補償まで完了。H24は買収済み箇所について工事実施。	当箇所は、前後に比べ極端に幅員が狭いため交通に支障をきたしている。森林セラピー基地の赤沢自然休養林へ通じる道路でもあり、特に大型バスが多いため、継続して事業を実施したい。	重要性が高い。	「継続」	
						必要性 C	特記事項 特になし					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=4.2					
						効率性 A						
		1億2000万円	2061万4千円	500万円	8788万6千円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
58	(一)原洗馬 いせん (停)線 郷原南 (塩尻市)	道路拡幅工 L = 510m W = 6.0(10.0)m 〔工期: H17 ~ H25〕 3億600万円	道路拡幅工 L = 115m	道路拡幅工 L = 230m	道路拡幅工 L = 330m	評価時 (変更) H24	75%	H23北工区の道路拡幅工を実施するとともに、引き続き南工区の用地買収を実施する。 特記事項 H24変更: 工期1年延長、事業費3600万円増 B/C(費用対効果)=2.5 住民参加状況等 特になし。	地元からの強い要望があり、郷原交差点の改良と一体の施工により渋滞解消効果が発現できるため、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
							必要性 A				
							重要性 B				
							効率性 A				
59	(一)橋川岡 たにせん 谷線 北小野 (塩尻市)	道路築造工 L = 1,000m W = 5.5(9.5)m 〔工期: H19 ~ H26〕 3億円	道路築造工 L = 500m	道路築造工 L=200m	道路築造工 L = 760m	評価時 (当初) H19	44%	H24は引続き用地買収を実施するとともに工事を進捗させる。 特記事項 特になし B/C(費用対効果)=1.3 住民参加状況等 特になし。	地元からの強い要望があり、スムーズな交通の流れを阻害する当箇所を解消するため、継続して事業を実施したい。	道路幅員が狭く、整備の必要性は認められる。	「継続」
							必要性 B				
							重要性 C				
							効率性 B				
60	(主)乗鞍岳 せん 鈴蘭 (松本市)	道路拡幅工 L = 1,000m W = 5.5(7.0)m 〔工期: H17 ~ H26〕 6億円	道路拡幅工 L = 120m	道路拡幅工 L = 30m	道路拡幅工 L = 110m	評価時 (変更) H24	69%	H24年度は引き続き拡幅工を実施する。 特記事項 H24変更: 工期1年延長、事業費1億5000万円増 B/C(費用対効果)=2.6 住民参加状況等 特になし。	地元から強い要望があり、ボトルネック区間を整備することで効果が上がる。地域の了解も得ていることから、継続して整備を進めたい。	拡幅改良の必要性が認められる。	「継続」
							必要性 B				
							重要性 A				
							効率性 A				
						緊急性 B					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課				
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況					
61	みりがな （一）惣社岡 かたせん 田線 おおむら 大村 〔松本市〕	道路拡幅工 L = 330m W = 6.0(10.0)m 〔工期：H20～H25〕 1億5200万円	用地買収 1式	道路築造工 L = 330m	道路築造工 L = 330m	評価時 (変更) H24	69%	用地交渉難航により、やや計画に遅れが生じている。	松本市都市環状道路 (外環状線)に位置付けられているが、幅員狭小、視距不良の区間が残されており、安全かつ円滑な交通を確保する必要がある。	予定工期内の完了を図る。	「継続」		
												必要性 B	特記事項 H24変更：現場精査の結果、事業費6,800万円減、L=50m減、工期1年延長 B/C(費用対効果)=1.8
												重要性 C	
												効率性 A	
												緊急性 B	
62	(いち)しもならもと （一）下奈良 とよなせん 本豊科線 ななあらし 七嵐 〔松本市〕	道路築造工 L = 600m W = 6.0(10.0)m 〔工期：H16～H24〕 4億2300万円	道路築造工 L=35m	道路築造工 L=190m	道路築造工 L=190m	評価時 (変更) H24	81%	計画どおり進んでいる。 平成24年度は順次道路拡幅工を実施する。	地元から強い要望があり、交差点改良を含めた一連の区間を整備することで効果が上がる。地域の了解も得ていることから、継続して整備を進め、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」		
												必要性 A	特記事項 H24変更：精査により事業費2300万円増 B/C(費用対効果)=1.2
												重要性 B	
												効率性 A	
												緊急性 A	
63	いち まちむらしろ （一）町村白 かわらいてい 川村井(停) せん 線 ことぶき 寿 〔松本市〕	道路築造工 L = 308m W = 6.0(9.5)m 〔工期：H22～H26〕 1億円	用地補償 1式 用地測量 1式 物件調査 1式	道路築造工 L=50m	道路築造工 L=238m	評価時 (当初) H22	15%	計画どおり進んでいる。 23年度より用地買収を始め、24年度も引き続き用地買収を行い、一部工事着手する。	当箇所は地域住民の生活道路として利用されており、一部用地の無償提供もあり、改良の実施により安全な交通が確保できるため、継続して事業を実施したい。	緊急性が認められる。	「継続」		
												必要性 B	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=5.4
												重要性 C	
												効率性 A	
												緊急性 A	

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
64	<small>（いち）そうしやあか</small> <small>たせん</small> 田線 <small>ゆのはら</small> 湯の原 〔松本市〕	道路築造工 L=40m W=5.5(10.0) 〔工期：H23～H24〕	用地測量 用地補償 1式	道路築造工 L=40m	道路築造工 L=40m	評価時 (当初) H23	68%	計画どおり進んでいる。 24年度工事着手する。	地元からの要望が強く、幅員狭小、視距不良の区間が残されており、安全かつ円滑な交通を確保する必要があるため、継続して実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		5000万円	751万4千円	1900万円	1900万円	必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=2.0				
						重要性 C					
						効率性 A					
				緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
65	<small>（しゆ）ながわのむぎ</small> <small>たかねせん</small> 麦高根線 <small>かみやうえ</small> 神谷上 〔松本市〕	道路拡幅工 L = 240m W = 5.5(7.0)m 〔工期：H23～H27〕	河川協議資料作成	道路拡幅工 L = 35m	道路拡幅工 L = 240m	評価時 (変更) H24	1%	計画どおり進んでいる。 H24年度は引き続き拡幅工を実施する。	未改良区間として中抜けで残っている区間であり、地元要望が強く、福祉施設や保育園等の公共施設もあることから、通行者、歩行者の安全を確保するため継続して整備を進めたい。	重要性が高く、緊急性は認められる。	「継続」
		8000万円	73万5千円	1000万円	9926万5千円	必要性 B	特記事項 H24変更：事業費2000万円減 B/C(費用対効果)=1.1				
						重要性 A					
						効率性 B					
				緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
66	<small>（いち）はたきた</small> <small>おおつたよしなせん</small> 大妻豊科線 <small>さみぞしんでん</small> 三溝新田 〔松本市波田〕	道路拡幅工 L = 630m W = 6.0(10.0)m 〔工期：H21～H25〕	用地補償 1式 物件調査 1式	用地補償 1式 物件調査 1式	道路拡幅工 L = 630m	評価時 (変更) H24	46%	道路詳細設計が完了し、順次道路拡幅工を実施する。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
		3億円	4494万2千円	5000万円	1億3505万6千円	必要性 A	特記事項 H24変更：工期1年延長 B/C(費用対効果)=9.3				
						重要性 C					
						効率性 A					
				緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
67	まるこしんしゅう (主)丸子信 州新線 いりかわ 入川 (筑北村)	道路拡幅工 L = 200m W = 5.5(7.0)m (工期: H22 ~ H27)	測量設計1式	道路拡幅工 L=20m	道路拡幅工 L = 180m	評価時 (当初) H22	6%	計画どおり進んでいる。 23年度より用地買収を始め、H24年度より一部工事着手する。	地元からの要望が強く、緊急性の高い区間から整備を進めることにより、スムーズな交通を確保するため、事業を実施したい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=1.8				
						重要性 A					
						効率性 A					
	1億円	1749万8千円	1000万円	7703万1千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
68	いち おんろまこし (一)御馬越 しおひつ てい せん 塩尻(停)線 なかぐみ 中組 (朝日村)	道路築造工 L = 670m W = 6.0(9.75)m (工期: H22 ~ H28)	測量設計1式	用地測量 用地補償 埋分調査委託 1式	道路築造工 L = 670m	評価時 (当初) H22	8%	計画どおり進んでいる。 24年度より用地測量、用地買収を始める。	バイパスにより、生活道路としての現道の安全確保並びにスムーズな交通の流れを阻害する当箇所の解消を図ることができる。	生活道路の安全確保のため整備の必要性は認められる。	「継続」
						必要性 C	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=2.3				
						重要性 B					
						効率性 A					
	2億円	8万6千円	1000万円	1億9991万4千円	緊急性 B	住民参加状況等 村長、地元役員の活発な地元調整がある。					
69	ありあけお (一)有明大 おまちせん 町線 みやしろ 宮城 (安曇野市)	道路拡幅工 L=740m W=6.0(10.25)m (工期: H20 ~ H28)	道路幅員改良工 (歩道設置) L=362.0m	道路拡幅工(線形改良工) L=300.0m	道路拡幅工 L=240.0m	評価時 (当初) H20	48%	平成22年度の追加補正により、交差点改良工区が完成し、線形改良工区に着手した。	国営アルプスあづみの公園(大町・松川地区)へのアクセス道路であり、また、松本地域と大北地域を連絡する主要ルート(通称:「山麓線」)として重要な路線であることから、事業の促進を図る必要がある。	線形改良の必要は認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=2.3				
						重要性 B					
						効率性 B					
	4億円	8362万8千円	2800万円	1億9668万3千円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
70	(主)豊科イン ター掘金線 大口沢 〔安曇野市〕	道路築造工 L=330m W=6.0(10.0)m 〔工期：H20～H26〕	設計検討	用地測量 1式 用地補償 1式	道路築造工 L=200.0m	評価時 (変更) H24	20%	平成22年度の追加補正により、凸角除去の2工区が完成し、1工区の橋梁詳細設計を実施している。 特記事項 H24変更：工期1年延長、事業費1億円増 B/C(費用対効果)=2.1	死亡事故が連続して発生しており、道路の安全性の向上を早期に図る必要がある。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	住民参加状況等 特になし				
						重要性 B					
						効率性 B					
	4億円	0円	4200万円	2億1802万8千円	緊急性 A						
71	(主)塩尻鍋 べわりほたかせん 割穂高線 塚原 〔安曇野市〕	道路築造工 L=650m W=6.0(12.0)m 〔工期：H22～H29〕	用地測量 1式	物件調査1式	道路築造工 L=650.0m	評価時 (当初) H22	5%	事業説明会を実施し、用地測量に着手した。 特記事項 特になし B/C(費用対効果)=3.6	国営公園間のアクセス機能の向上とともに観光ルートとして、道路整備(交差点改良)の必要性が高いことから、早期に完成させる必要がある。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	住民参加状況等 特になし				
						重要性 B					
						効率性 B					
	3億1000万円	826万円	800万円	2億9436万7千円	緊急性 A						
72	(一)小倉梓 橋(停)線 下長尾 〔安曇野市〕	道路拡幅工 L=480m W=5.5(8.5)m 〔工期：H19～H26〕	用地補償 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L=246.0m	評価時 (変更) H24	50%	引き続き、用地補償を進めた。 特記事項 H24変更：工期2年延長、事業費6000万円増 B/C(費用対効果)=2.19	(主)塩尻鍋割穂高線と国道147号を横方向で繋ぐ重要な道路網(ネットワーク)として、事業の促進を図る必要があるため、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						必要性 A	住民参加状況等 特になし				
						重要性 B					
						効率性 A					
	3億円	4031万5千円	400万円	1億1631万9千円	緊急性 A						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
73	(国)403号 さんちやう 山中 (安曇野市)	道路拡幅工 L=320m W=6.0(7.5)m (工期:H22~H27)	用地補償 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L=320.0m	評価時 (変更) H24	24%	事業説明会を実施し、用地補償に着手した。 特記事項 H24変更:工期2年延長、事業費2000万円増 B/C(費用対効果)=4.31	狭隘箇所への拡幅により、高速道路へのアクセス機能も向上することから、道路改築事業“矢越防災”と調整を図りながら、拡幅改良事業を継続して進める必要がある。	重要性が高い。	「継続」
						必要性 B	住民参加状況等 特になし				
						重要性 A					
						効率性 A					
	1億1000万円	1709万1千円	985万円	6634万1千円	緊急性 B						
74	しゅ ばくばみ (主)白馬美 あさせん 麻線 おおぞう 大左右 (白馬村)	道路築造工 L=200m W=6.5(11.0)m (工期:H22~H27)	道路築造工 L=50m	道路築造工 L=150m	道路築造工 L=150m	評価時 (変更) H24	65%	計画どおり進んでいる。 特記事項 H24変更:事業精査により事業費2100万円増 B/C(費用対効果)=1.9	事故が多発しており、地元住民の要望も強い。特に事故の多発しているカーブの急な部分を早急に改築する必要がある。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	住民参加状況等 特になし				
						重要性 A					
						効率性 B					
	1億7100万円	8338万3千円	3000万円	4274万7千円	緊急性 A						
75	しゅ おおまち (主)大町麻 み ちく 績インター干 ま せん 曲線 した トンネル下 (大町市)	道路築造工 L=300m W=6.0(8.0)m (工期:H21~H25)	道路築造工 L=240m	道路築造工 L=100m	道路築造工 L=160m	評価時 (当初) H21	74%	計画どおり進んでいる。 H24年度は引き続き本工事を進める。 特記事項 特になし B/C(費用対効果)=2.2	大町市と八坂地区を結ぶ幹線道路であり、地元調整も図られているため、継続して事業を進めたい。	重要性が高い。	「継続」
						必要性 B	住民参加状況等 特になし				
						重要性 A					
						効率性 B					
	4億円	1億1619万4千円	5000万円	7390万円	緊急性 B						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
76	<small>いちこしましな</small> <small>(一)小島信</small> <small>のきさきていせん</small> <small>濃木崎(停)線</small> <small>いなお</small> <small>稲尾</small> (大町市)	道路拡幅工 L=260m W=5.5(7.0)m (工期:H20~H25)	道路拡幅工 L=180m ボックスカルバート工 L=22.75m (H24含む)	(債務返し)	道路拡幅工 L=260m	評価時 (当初) H20	72%	計画どおり進んでいる。	橋梁の劣化が著しく、 早急に架け替えが必要 な状態であるため、 事業の促進を図りたい。	橋梁の架け替え及 び、拡幅改良の必要 性は認められる。	「継続」
		2億円	1億2570万6千円	3000万円	5000万円	必要性 B	特記事項 特になし				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=1.1				
						効率性 A					
77	<small>いちふなばや</small> <small>(一)舟場矢</small> <small>したせん</small> <small>下線</small> <small>やしな</small> <small>こすげ</small> <small>矢下~小菅</small> (大町市)	道路拡幅工 L=440m W=5.5(6.5)m (工期:H15~H25)	道路拡幅工 L=80m	道路拡幅工 L=70m	道路拡幅工 L=130m	評価時 (変更) H24	61%	H24年度は道路拡幅工を実施する。	地域の合意が得られ ており、地域での重要 な生活路線であるた め、継続して事業を進 めたい。	予定工期内での完 了を図る。	「継続」
		1億200万円	1397万6千円	1500万円	3406万3千円	必要性 B	特記事項 H24変更:事業費2200万円増,工期1年延長				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.0				
						効率性 A					
78	<small>いちあまさや</small> <small>(一)美麻八</small> <small>かきせん</small> <small>坂線</small> <small>なしだいら</small> <small>梨平</small> (大町市)	道路拡幅工 L=100m W=5.5(7.0)m (工期:H21~H25)	用地補償1式 物件補償1式	道路拡幅工 L=50m	道路拡幅工 L=50m	評価時 (変更) H24	79%	H21に計画説明会を開催し、H22年度より用地買収に着手。H24は本工事を進めていく。	幅員狭小、急カーブで 交通の難所であるた め、生活道路としての 安全確保を図るとも に、地域産業の活性 化に寄与する事業で あるため継続して事業 を進めたい。	予定工期内での完 了を図る。	「継続」
		1億円	4195万7千円	1000万円	2390万円	必要性 B	特記事項 H24変更:工期1年延長				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.5				
						効率性 A					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし				

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
79	<small>いち みあまや</small> <small>(一)美麻八</small> <small>さかせん</small> <small>坂線</small> <small>ふたえ</small> <small>一重</small> (大町市)	道路拡幅工 L=580m W=5.5(7.0)m (工期:H21~H25)	道路拡幅工 L=25m	道路拡幅工 L=60m	道路拡幅工 L=360m	評価時 (当初) H21	32%	H24年度から2工区の施工を開始する。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため継続して事業の進捗を図りたい。	重要性、緊急性は認められる。	「継続」
						必要性 C	特記事項 特になし				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=4.6				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし				
80	<small>いち うるが</small> <small>(一)宇留賀</small> <small>いけだせん</small> <small>池田線</small> <small>あめ みや</small> <small>雨の宮</small> (池田町)	道路拡幅工 L=270m W=4.0(6.0)m (工期:H21~H25)	道路拡幅工 L=170m	道路拡幅工 L=50m	道路拡幅工 L=100m	評価時 (変更) H24	70%	H23年度より本工事着手し、順次進捗を図る。	現道は幅員狭小で、路線バスの運行にも支障をきたしているため、1.5車線整備により、継続して事業を進めたい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更:事業精査により5500万円減				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=1.8				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし				
81	<small>いち かみくさか</small> <small>(一)上生坂</small> <small>しなのまつがわ</small> <small>信濃松川</small> <small>ていせん</small> <small>(停)線</small> <small>なかやまおんせん</small> <small>中山温泉</small> (池田町)	道路拡幅工 L=550m W=5.5(7.0)m (工期:H20~H27)	道路拡幅工 L=45m	道路拡幅工 L=170m	道路拡幅工 L=346m	評価時 (変更) H24	33%	H24年度は引き続き本工事を進めていく。	当該箇所は、幅員狭小かつ急カーブが続く危険箇所である。安全な交通を確保するため、継続して事業を進めたい。	局部改良の必要性は認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更:工期2年延長				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=1.3				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし				
						緊急性 B					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
82	<small>（いちほのうちゅう） （一）奉納中 うつちていせん 工（停）線</small> <small>いしはら そだ 石原～曾田</small> <small>（小谷村）</small>	道路改築工 L=600m W=4.0(5.5)m 〔工期：H17～H26〕	道路改築工 L=80m	道路改築工 L=100m	道路改築工 L=220m	評価時 (変更) H24	59%	H24年度には引き続き本工事を実施していく。	住民が参加し道路整備を推進しており、事故発生箇所等危険箇所解消のために、事業を拡大して進めたい。	予定工期内での完了を図る。	「拡大」
		1億8100万円	2863万6千円	2000万円	5996万4千円	必要性 B	特記事項 H24変更：地元調整の結果、危険箇所解消のために施工区間の追加 L=300m増、工期3年延長、事業費7270万円増				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=0.7				
						効率性 A					
緊急性 B	住民参加状況等 特になし										
83	<small>（こみね いなり） （一）小峰稲荷 やま 山線</small> <small>おおた わら 大田原</small> <small>（千曲市）</small>	道路改築工 L =570m W=5.5(7.0)m 〔工期：H21～H26〕	道路改築工 L=60m	道路改築工 L=180m	橋梁整備工 L=13m W=6.0(10.0)m	評価時 (変更) H24	77%	計画どおり進んでいる。	当区間を整備することで、大田原地区の孤立化を防ぐことが可能である。工事で発生した残土を利用して、谷側を盛り立てることから、線形改良ができるため、事業を拡大して事業を実施し、早期に完成したい。	緊急性は認められる。	「拡大」
		1億6000万円	8797万2千円	3300万円	3751万8千円	必要性 B	特記事項 H24変更：L=370m延長、工期1年延長、事業費1億4千万円増 カーブ部分の拡幅箇所を増				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=2.6				
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 住民の意見を反映しながら計画策定している										
84	<small>（おもまちあみ） （主）大町麻績 インター千曲 ん 線</small> <small>おっぎひら 扇平</small> <small>（千曲市）</small>	道路改築工 L =800m W=5.5(7.0)m 〔工期：H23～H30〕	詳細設計 1式 地質調査 1式 用地測量 1式	用地補償 1式 立木補償 1式	道路改築工 L=800m W=5.5(7.0)m	評価時 (当初) H23	4%	計画どおり進んでいる。	当区間を整備することで、落石危険箇所を解消するとともに突角部の視距が確保され、安全確保が図れることから早急に整備する必要があり、継続して事業を実施したい。	緊急性が認められる。	「継続」
		3億9000万円	1506万円	1500万円	3億7494万円	必要性 B	特記事項 特になし				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=1.1				
						効率性 B					
緊急性 A	住民参加状況等 住民の意見を反映しながら計画策定している										

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	みりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
85	おぼすて (一)姨捨(停 いせん 線 おおいけ 大池 (千曲市)	道路改築工 L=170m W=6.0(8.0)m 〔工期：H22～H26〕	詳細設計 1式 用地測量 1式	用地補償 1式	道路改築工 L=170m W=6.0(8.0)m	評価時 (当初) H22	17%	計画どおり進んでいる。	国道18号バイパスの 供用開始に伴う既存 交差点の改良であり、 交通の円滑化をはか るため、継続して事業 を実施したい。	緊急性は認められ る。	「継続」
		9000万円	676万6千円	300万円	7472万9千円	必要性 C	特記事項 特になし				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=11.9				
						効率性 A					
						緊急性 A	住民参加状況等 住民の意見を反映しながら計画策定している				
86	(一)白石千曲 せん 線 やしる 屋代 (千曲市)	道路改築工 L=230m W=5.5(7.0)m 〔工期：H22～H26〕	用地交渉	用地補償 1式	道路改築工 L=230m W=5.5(7.0)m	評価時 (変更) H23	1%	H24は用地補償を進めたい。	早期完成に向けて、 完成区間も含め当面 の事業効果が見込ま れるため、当区間の 整備方針を市道接続 までとし、継続して事 業を実施したい。	必要性は認められ る。	「継続」
		1億1000万円	0円	600万円	1億529万1千円	必要性 A	特記事項 H23変更：事業費7000万円減、幅員6.5(16.0)mを縮小 地元調整により市道取付部への暫定供用とする整備方針に変更し設計修正した。				
						重要性 C	B/C(費用対効果)=3.7				
						効率性 A					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし				
87	(一)ながのうえだせ ん 線 さんぼんぎ 三本木 (千曲市)	橋梁整備工 L=13m W=6.0(10.0)m 〔工期：H22～H26〕	測量設計 1式 用地補償 1式	用地補償 1式	橋梁整備工 L=13m W=6.0(10.0)m	評価時 (変更) H24	2%	H24は用地補償を進める。	当該区間は、事故危 険箇所であるうえ、国 道18号バイパス及び 力石バイパス供用開 始に伴う交通量増加 による交通環境悪化 が懸念されるため、継 続して事業実施し、早 期に完成したい。	予定工期内での完 了を図る。	「継続」
		5500万円	77万円	200万円	2612万7千円	必要性 A	特記事項 H24変更：工期2年延長、事業費2500万円増				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=6.1				
						効率性 A					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし				

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
88	(一)内川(姨捨 停線) 〔千曲市〕	交差点改良 L = 75m 〔工期：H21～H24〕	測量設計 1式 用地補償 1式	交差点改良 1箇所	交差点改良 1箇所	評価時 (変更) H24	57%	計画どおり進んでいる。	当交差点の交通容量 不足に起因する交通 渋滞が発生している ため、継続して事業を 実施し、平成24年度 完了を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「拡大」
						必要性 A	特記事項 H24変更：事業内容精査の結果、交差点部分の取付部分を増 延長38m増 B/C(費用対効果)=1.8				
						重要性 C					
						効率性 A					
		5300万円	3068万1千円	2000万円	2000万円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし				
89	(一)大前須 坂線 〔高山村〕	道路拡幅工 L = 380m W = 4.0(6.0)m 〔工期：H21～H24〕	道路拡幅工 L = 56m	道路拡幅工 L = 25m	道路拡幅工 L = 25m	評価時 (変更) H24	60%	計画どおり進んでいる。 H24に25mの拡幅を行い、完了させる。	観光道路の利用者 の安全確保を図るとと もに、県境を越えた地 域間の交流に寄与す る事業であるため、継 続して整備を図り、平 成24年度完了を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更：L=34m増、事業費3300万円減 B/C(費用対効果)=3.3				
						重要性 A					
						効率性 A					
		6768万円	1710万9千円	2700万円	2700万円	緊急性 C	住民参加状況等 特になし				
90	(主)豊野南 志賀公園線 〔高山村〕	道路拡幅工 L = 600m W = 4.0(6.0)m 〔工期：H23～H26〕	測量設計 1式	道路拡幅工 L = 400m	道路拡幅工 L = 600m	評価時 (変更) H24	12%	H23に測量設計(全区間の半分)を実施 し、H24に工事に着手する。	地域間を結ぶ道路とし ての安全確保を図り、 観光地へのアクセス 向上に寄与することか ら、ローカルルール の適用により継続して 整備を図りたい。	重要性、緊急性が認 められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更：工期1年延長、事業費1000万円増 B/C(費用対効果)=18.3				
						重要性 A					
						効率性 A					
		4000万円	463万8千円	800万円	2536万2千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし				

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築				補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
91	(一)米子須坂線 〔高山村〕	道路拡幅工 L=100m W=6.0(9.75)m 〔工期：H23～H26〕	測量設計 1式	用地測量 1式	道路拡幅工 L=100m	評価時 (当初) H23	5%	計画どおり進んでいる。 H23に測量設計、H24に用地測量を行い、 H25に用地補償、工事着手を目指す。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、継続して整備を図りたい。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 A	特記事項 特になし。					
						重要性 B	B/C(費用対効果)=4.8					
						効率性 A						
	6000万円	284万6千円	200万円	5715万4千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
92	(一)村山小布施(停)線 〔小布施町〕	交差点改良工 L=280m W=9.0(13.0)m 〔工期：H23～H25〕	用地測量 1式 用地補償 1式 歩道橋設置工 1橋	車道橋補修・補強工 1橋	交差点改良工 L=280m	評価時 (変更) H24	33%	計画どおり進んでいる。 H23に歩道橋設置、H24に車道橋補強・補修を行い、H25完了を目指す。	(国)403号からの交通量分散により、小布施町中心部の渋滞解消、歩行者の安全確保による観光・地域産業の活性化に寄与するため、継続して整備を図りたい。	緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 B	特記事項 信号新設予定(H25)...公安委員会要望中。 H24変更:事業費4000万円増					
						重要性 B	B/C(費用対効果)=5.2					
						効率性 A						
	1億4000万円	4789万円	2600万円	5211万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし						
93	(一)川合川中島線 〔長野市〕	道路拡幅工 L=100m W=6.0(7.5)m 〔工期：H23～H25〕	測量設計 1式 用地補償 1式	休止	道路拡幅工 L=100m W=6.0(7.5)m	評価時 (当初) H23	50%	測量設計完了。 境界立会不調につき、調整が必要。	通学路に指定されており、生活道路としての安全確保、渋滞対策による円滑化を図るため、継続して事業を推進したいが、用地境界の調整が必要となるため、休止とした。	予定工期内での完了を図る。	「休止」	
						必要性 B	特記事項 H24変更:工期1年延長					
						重要性 A	B/C(費用対効果)=11.0					
						効率性 A						
	3500万円	63万4千円	0円	3436万6千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし						

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	簡所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
94	<small>しゆ とよのみ</small> <small>なみしがたうえんせん</small> (主)豊野南志賀公園線 <small>とよの</small> 豊野 (長野市)	道路築造工 L=400m W=6.0(9.75)m (工期:H23~H25)	測量設計 1式	用地補償 1式	道路築造工 L=400m W=6.0(9.75)m	評価時 (当初) H23	6%	計画どおり進んでいる。	生活道路としての安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であため、継続して事業を推進したい。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」
		8000万円	204万9千円	1000万円	7795万1千円	必要性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=7.6				
						重要性 A					
						効率性 A					
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし					
95	<small>しゆ ながのと</small> (主)長野戸隠線 <small>もすげ ひろせ</small> 茂管~広瀬 (長野市)	道路築造工 L=700m W=4.0(6.0)m (工期:H23~H32)	道路築造工 L=100m	道路築造工 L=100m	道路築造工 L=600m	評価時 (当初) H23	11%	H24は茂管工区の本工事、横棚工区の用地測量・用地補償、坂額工区の測量・設計を実施予定。	現況では乗用車のすれ違いもままならない状況であり、主要地方道としての機能を果たしていない。幅員狭小箇所を早期に改良する必要がある、継続して事業を推進したい。	緊急性が認められる。	「継続」
		3億円	2698万8千円	3600万円	2億7301万2千円	必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)=2.2				
						重要性 B					
						効率性 B					
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし					
96	<small>しゆ しなのしんしゅう</small> (主)信濃信州新線 <small>じょうり はぎの</small> 上里~萩之峰 (長野市)	道路拡幅工 L = 1,310m W = 4.0(6.0)m (工期:H15~H24)	道路築造工 1式 用地測量・物件調査 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L = 100m	道路拡幅工 L = 100m	評価時 (変更) H24	8%	H23は中区工区の本工事、小鬼無里工区の用地測量、物件調査を実施。H24は小鬼無里工区の用地補償、本工事を行い、財又工区に着手する。	地域の生活道路であり、代替路線も無いことからローカルルールを適用し、引き続き事業を継続し、平成24年度での完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		6億6330万円	5263万7千円	3500万円	3500万円	必要性 B	特記事項 H24変更:地元調整の結果、危険箇所解消のため、L=100m増、事業費2500万円増 B/C(費用対効果)=3.3				
						重要性 A					
						効率性 A					
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
97	〔小川長野線〕 御山里～梅木 〔長野市〕	道路拡幅工 L=700m W=4.0(6.0)m 〔工期：H23～H32〕	地形測量 1式 地すべり調査 1式	測量・設計・ 地すべり調査・ 用地測量 1式	道路拡幅工 L=700m	評価時 (当初) H23	6%	H23は小手屋工区の地形測量、地すべり概 査を実施した。H24は小手屋工区の測量・設 計、用地測量を行う予定。	地域の生活道路であり、幅員狭小で代替路 線もないことから、早 急に整備を進める必 要があるため、継続し て事業を実施したい。 ローカルルール適用 により事業を実施し、 引き続き事業の進捗 を図りたい。	重要性が認められ る。	「継続」
		2億円	1013万円	700万円	1億8987万円	必要性 B	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=1.3			
						重要性 A	住民参加状況等 特になし				
						効率性 B					
98	〔安庭篠ノ井線〕 安庭～十二 〔長野市〕	道路拡幅工 L = 885m W = 4.0(6.0)m 〔工期：H18～H26〕	用地測量 用地買収 1式	道路拡幅工 L = 100m	道路拡幅工 L = 220m	評価時 (変更) H24	78%	H23に用地測量、用地補償が完了し、H24は 道路拡幅工を実施するとともに用地補償も 進める。	事業効果は限定的で あるが、小規模集落 にとつての生命線である。 また、ローカル ルールの適用により、 少ないコストで早期に 効果を発現することが できることから、継続し て事業を実施したい。	重要性が認められ る。	「継続」
		1億7593万8千円	182万円	1000万円	1億365万3千円	必要性 C	特記事項 H24変更：難航していた用地が取得できるようになり、工事を実施 するため増とする。L=100m延長、工期1年延長				
						重要性 B	住民参加状況等 特になし				
						効率性 A					
99	〔信州新中条線〕 山上条 〔長野市〕	道路拡幅工 L=223m W=4.0(6.0)m 〔工期H19～H24〕	道路拡幅工 L=120m	道路拡幅工 L=103m	道路拡幅工 L=103m	評価時 (変更) H24	87%	H24完了予定	当区間は重要な生活 路線であるが線形が 悪く幅員も狭く危険で あり通行に支障を来し ていることから、安全 かつ円滑な通行を確 保するため、ローカル ルールを適用し継続し て事業を実施し、平成 24年度完了を図る。	平成24年度での完 了を図る。	「継続」
		5933万8千円	3780万1千円	700万円	700万円	必要性 B	特記事項 H24変更：工期1年延長				
						重要性 B	住民参加状況等 事業に対して積極的に協力する体制にある。				
						効率性 A					
				緊急性 B							

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
100	いちこみねい (一)小峰稲 なりやません 荷山線 おおけみ た 大花見～田 沢 (長野市)	道路拡幅工 L = 500m W = 4.0(6.0)m (工期: H20 ~ H26)	測量設計 1式	用地測量 用地補償 1式	道路拡幅工 L = 440m	評価時 (変更) H24	21%	H23に測量設計が完了し、H24は用地測量及び用地補償を進める。	重要な生活道路であり、特に冬期間の通行に支障を来していることから、安全かつ円滑な通行を図るため、ローカルルールを適用し継続して事業を実施したい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更: 工期1年延長				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=1.4				
						効率性 A					
						緊急性 A	住民参加状況等 特になし				
101	いちいりやまこ (一)入山小 いちせん 市線 かみかまわ 上深沢 (長野市)	道路拡幅工 L = 640m W = 4.0(6.0)m (工期: H21 ~ H25)	詳細設計 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	道路拡幅工 L=50m	道路拡幅工 L = 590m	評価時 (変更) H24	4%	H23はボックスカルバート詳細設計、用地測量、用地補償を実施。H24は用地補償を完了させ、本工事に着手する。	地域住民の重要な生活道路であるが、狭隘区間が多く安全な通行の支障となっているため、ローカルルールを適用し継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						必要性 C	特記事項 H24変更: L=40m増、工期1年延長				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.4				
						効率性 A					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし				
102	むらやまわ (一)村山綿 たうちいせん 内(停)線 よしのまち 芦町 (長野市)	拡幅改良工 L = 220m W = 6.0(7.5)m (工期: H21 ~ H24)	詳細設計修正 1式	道路築造工 L=220m	道路築造工 L=220m	評価時 (変更) H24	15%	計画どおり進んでいる。 H24完了予定	地域間の連結等を担う道路として、交通の円滑化実現のため、継続して事業実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更: L=30m減、事業費1200万円減				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=8.6				
						効率性 A					
						緊急性 B	住民参加状況等 特になし				

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
103	(主)戸隠篠井線 青池～上有旅 (長野市)	道路拡幅工 L=300m W=4.0(6.0)m (工期:H22～H25)	用地測量 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L=300m	評価時 (変更) H24	13%	H23に用地測量が完了し、H24より用地補償を進める。	当区間は広域道路として重要な生活道路であるが、特に冬期間の通行に支障を来していることから、安全かつ円滑な通行を図るためローカルルールを適用し、継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						必要性 C	特記事項 H24変更:工期1年延長				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=1.9				
						効率性 A					
		7000万円	506万2千円	1000万円	6157万7千円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし				
104	(主)丸子信州新線 牧野島 (長野市)	道路拡幅工 L=300m W=4.0(6.0)m (工期:H22～H26)	用地測量 1式	用地補償 1式	道路拡幅工 L=300m	評価時 (当初) H22	11%	計画どおり進んでいる。H23に用地測量が完了し、H24より用地補償を進める。	当区間は広域道路として重要な生活道路であり、新町病院や長野自動車道へのアクセス道路であることから、安全かつ円滑な通行を図るため、継続して事業実施したい。	拡幅改良の必要性は認められる。	「継続」
						必要性 C	特記事項 特記事項なし				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.3				
						効率性 A					
		8000万円	485万8千円	1000万円	7096万6千円	緊急性 B	住民参加状況等 特になし				
105	(一)川口大町線 左右 (長野市)	道路拡幅工 L=380m W=4.0(6.0)m (工期H22～H25)	道路拡幅工 L=160m	道路拡幅工 L=100m	道路拡幅工 L=120m	評価時 (変更) H24	41%	計画どおり進んでいる。H25完了予定	当区間は重要な生活路線であるが線形が悪く幅員も狭く危険であり通行に支障を来していることから、安全かつ円滑な通行を確保するため、ローカルルールを適用し継続して事業実施したい。	1.5車線での整備の必要性は認められる。	「継続」
						必要性 C	特記事項 H24変更:1200万円減(事業精査により)				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=2.5				
						効率性 A					
		5809万円	1387万2千円	1500万円	4642万5千円	緊急性 B	住民参加状況等 事業に対して積極的に協力する体制にある。				

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
106	みりがね 川口田 (一)川口田 のぐちしののいせん 野口篠ノ井線 たかの はいばら 高野～灰原 (長野市)	道路拡幅工 L=460m W=4.0(6.0)m (工期:H22～H26)	用地測量 1式	道路拡幅工 L=60m	道路拡幅工 L=460m	評価時 (変更) H24	15%	H23は用地測量が完了し、H24は用地補償と 本工事を実施する。	地元から強い要望が ある。当箇所は、幅員 狭小で車両のすれ違 いに支障をきたして おり、特に冬期は、路面 凍結によるスリップ事 故も発生しているた め、ローカルルールを 適用し早期に整備を 行いたい。	1.5車線での整備の 必要性は認められ る。	「継続」
		必要性 C		特記事項 H24変更:工期1年延長							
		重要性 A		B/C(費用対効果)=2.1							
		効率性 A		住民参加状況等 特になし							
107	いちとちほあきたさと (一)栃原北郷 しののせんの 信濃線 れいせんし とみが 霊仙寺～富ヶ 原 (飯綱町)	道路拡幅工・待避所 設置 L=300m W=5.5(7.0)m (工期:H23～H26)	地質調査 1式	用地測量 1式	道路築造工 L=300m	評価時 (変更) H24	32%	H24は測量設計を実施していく。	現況では乗用車のす れ違いもままならない 状況であり、主要地方 道としての機能を果し ていない。幅員狭小箇 所を早期に改良する 必要があり、ローカル ルールを適用し、継続 して事業を推進した い。	予定工期内での完 了を図る。	「継続」
		必要性 B		特記事項 H24変更:工期2年延長							
		重要性 A		B/C(費用対効果)=6.1							
		効率性 A		住民参加状況等 特になし。							
108	(一)牟礼永 がえせん 江線 あかしお 赤塩 (飯綱町)	道路拡幅工 L=1,160m W=5.5(8.75)m (工期:H17～H26)	道路拡幅工 L=39m 測量設計 1式	道路拡幅工 (BOX,C) L=28m	道路拡幅工 L=600m	評価時 (変更) H24	58%	H24はボトルネックとなっている橋梁の架け 替えに着手する。	地元の受入体制が 整っており、ローカル ルールの適用により、老朽 化した橋梁1橋の補修 を含め、継続して事業 を実施し事業効果を 発現したい。	重要性、緊急性が認 められる。	「継続」
		必要性 B		特記事項 H24変更:事業内容精査による(事業費2000万円増)							
		重要性 A		B/C(費用対効果)=3.2							
		効率性 A		住民参加状況等 特になし							

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
109	〔飯綱町〕 (一)三水中 のかん 野線 ひとつや せきとりば 一ツ屋～関取 場	道路拡幅工 L=400m W=6.0(9.75)m (工期:H21～H25)	道路拡幅工 L=200m	用地補償 1式	道路拡幅工 L=200m	評価時 (変更) H24	60%	計画どおり進んでいる。 H24は起点側の用地買収を実施する。	ボトルネックであり、生活道路としての安全を確保する必要があり、早期の整備が必要である。	緊急性が認められる。	「継続」
		1億2000万円	6399万7千円	1300万円	4820万3千円	必要性 B	特記事項 H24変更:事業内容精査の結果(事業費4000万円増)				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=0.9				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし				
110	(主)信濃信 んしゆせん 州信線 (くらひめ にのくら 黒姫～仁之 倉)	道路拡幅工 L=400m W=6.0(8.5)m (工期:H17～H26)	付替水路工 L=104m	付替水路工 L=104m	道路拡幅工 L=400m	評価時 (変更) H23	18%	H23は起点側の付け替え水路工事に着手した。 H24は旧県道から先の物件調査を実施する。	当箇所は長野市戸隠から信濃町間の最大のネック箇所となっていることから継続して事業を進めたい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
		3億円	812万円	500万円	1億8987万円	必要性 B	特記事項 H23変更:計画内容について地元調整を続けてきた結果、用地交渉が難航した戸隠側を外した計画に見直す 工期2年延長、道路拡幅工200m減				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=5.5				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし				
111	(主)飯山妙高 うこうげせん 高原線 まげかわ 菅川	道路拡幅工 L = 200m W = 4.0(6.0)m (工期: H17 ~ H24)	道路拡幅工 L = 300m	道路拡幅工 L = 100m	道路拡幅工 L = 100m	評価時 (当初) H17	51%	計画どおり進んでいる。 平成22は用地買収を実施し、平成23は用地補償を実施する。 H24は本工事を実施して、完了をめざす。	幅員狭小で、事故の危険性も高いため、継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
		8363万3千円	4376万4千円	1600万円	1600万円	必要性 B	特記事項 特になし				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=3.9				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
				緊急性 B							

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築				補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
112	〔ふるま （一）古間 （停）野尻線 美野里 〕 〔信濃町〕	道路拡幅工 L=300m W=5.5(7.0)m 〔工期：H22～H25〕	道路拡幅工 L=224m	埋蔵文化財調査 1式	道路拡幅工 L=76m	評価時 (変更) H24	73%	H24は起点側の用地買収と埋蔵文化財調査を実施する。	生活道路としての冬期間の安全確保を図るとともに、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であるため、急カーブ部の拡幅改良を継続して実施する必要がある。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
		7472万円	4351万円	500万円	2671万円	必要性	特記事項 H24変更：事業内容精査の結果 工期1年延長、事業費4400万円増					
						重要性	B/C(費用対効果)=1.6					
						効率性	A					
緊急性	住民参加状況等 特になし											
113	〔いちあがわな （一）小川長 がのせん 野線 あじまめ 味大豆 〕 〔小川村〕	道路拡幅工 L=290m W=4.0(6.0)m 〔工期：H21～H26〕	用地補償 1式 地形測量 1式	道路拡幅工 L=290m	道路拡幅工 L=290m	評価時 (当初) H21	15%	H24から本工事に着手する。	地域住民の重要な生活道路であるが、狭隘区間が多く安全な通行の支障となっているため、ローカルルールを適用し継続して事業を実施したい。	予定工期内での完了を図る。	「継続」	
		8000万円	290万3千円	1200万円	7356万6千円	必要性	特記事項 H24変更：工期2年延長					
						重要性	B/C(費用対効果)=1.5					
						効率性	B					
緊急性	住民参加状況等 特になし											
114	〔あきやまごうも （一）秋山郷森 りみやのばらてい 宮野原(停) せん 線 ごほうぎ 五宝木～極野 〕 〔栄村〕	道路拡幅工 L=440m W=4.0(6.0)m 〔工期：H18～H24〕	用地補償 1式 物件調査 1棟	道路築造工 L=96m 橋梁新設 L=11.2m	道路築造工 L=96m 橋梁新設 L=11.2m	評価時 (変更) H22	77%	H23から道路拡幅工に着手した。H24完了を目指す。	生活道路の安全確保及び観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与するため、継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
		1億8000万円	4843万1千円	4100万円	4100万円	必要性	特記事項 H22変更：計画区間見直し、極野～中野間に変更(延長10.56km減、事業費22.2億減) H24変更：工期1年短縮					
						重要性	B/C(費用対効果)=1.3					
						効率性	A					
緊急性	住民参加状況等 特になし。											

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築				補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
115	<small>いちながせよこ</small> <small>くらていせん</small> (一)長瀬横倉(停)線 <small>かいまわりまか</small> 貝廻坂 (栄村)	道路築造工 L = 1,500m W = 4.0(6.0)m [工期: H23 ~ H27]	測量・設計 1式	道路築造工 L=250m	道路築造工 L=1,500m	評価時 (当初) H23	8%	計画通り進んでいる。	長野県北部地震では通行止めとなり、地域産業及び日常生活に支障をきたした。生活道路の安全確保のため継続して事業を進めていきたい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		3億円	2500万円	700万円	2億7500万円	必要性 B	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)= 2.4					
						重要性 A						
						効率性 A						
緊急性 A	住民参加状況等 長野県北部地震を受け、地域要望が特に強い。											
116	<small>しいやまみやうこ</small> (主)飯山妙高高原線 <small>おやかわ</small> 親川 (中野市)	道路拡幅改良工 L = 450m W = 4.0(6.0)m [工期: H21 ~ H24]	道路拡幅改良 L=73m	道路拡幅改良 L=377m	道路拡幅改良 L=377m	評価時 (変更) H24	85%	幅員が狭小な区間から順次着手している。	豊田飯山ICと斑尾高原を結ぶ観光アクセス道路であり、少ないコストで早期に効果を発現できるため、継続して事業を実施し、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
		6578万4千円	4711万4千円	1300万円	1300万円	必要性 B	特記事項 H24変更:事業精査により、事業費1,200万円減					
						重要性 C						
						効率性 A						
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。											
117	<small>さみずなかの</small> (一)三水中野線 <small>かみいまい</small> <small>くり</small> 上今井～栗 <small>ばやし</small> 林 (中野市)	道路拡幅工 L=420m W=6.0m(10.0)m [工期: H17 ~ H26]	道路拡幅工 2号ボックスカルバート工 1式	道路拡幅工 1,2号ボックスカルバート工 1式	道路拡幅工 L=420m	評価時 (当初) H17	67%	計画どおり進んでいる。	中野地区と豊田地区を結ぶ唯一の道路であり重要性は高く、昭和58年の台風10号、昭和16年の台風23号、平成18年の7月豪雨では出水による冠水被害で通行止めとなったことから、生活道路の安全確保を目指し、継続して事業を進めていきたい。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
		4億6000万円	1億6335万6千円	1億300万円	1億2944万6千円	必要性 B	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=1.7					
						重要性 A						
						効率性 A						
緊急性 A	住民参加状況等 事業計画に対する建設的な意見(遊水地機能を保持するための水抜きボックスの設置など)をいただいている。											

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	8.6 県単道路改築			補助・単独別		単独	建設部 道路建設課		
番号	箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
118	ななまがりにしほら (一)七曲西 せん 原線 なかしま 中島 (木島平村)	道路築造工 L = 320m W = 5.5(9.25)m 〔工期: H23 ~ H27〕	地形測量 路線測量 道路詳細設計	用地測量、 物件調査 1式	道路築造工 L = 320m	評価時 (当初) H23	5%	計画通り進んでいる。 幅員狭小・歩道未設置区間の解消に向け、 事業を推進する。	生活道路及び通学路 としての安全確保を図 るとともに、観光地へ のアクセス機能の向 上による地域産業の 活性化に寄与する効 果もあるため、事業を 実施したい。	重要性、緊急性が認 められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)= 1.5				
						重要性 A					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。										
119	(一)曾根藤ノ き 木線 とぎま 外様 (飯山市)	道路拡幅工 L = 950m W = 5.5(9.25)m 〔工期: H23 ~ H27〕	路線測量 1式 詳細設計 1式	用地測量・物件 調査 1式	道路拡幅工 L = 950m W = 5.5(9.25)m	評価時 (変更) H24	5%	平成23年度、新規事業として調査に着手し、 計画どおり進んでいる。	生活道路としての安全 確保を図るととも に、観光地へのアクセ ス機能の向上による 地域産業の活性化に 寄与する事業である ため、継続して事業を 実施したい。	重要性、緊急性が認 められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更: 詳細設計により、事業費5000万円減 雪道計画が平成22年に定められている。				
						重要性 A					
						効率性 B					
緊急性 A	住民参加状況等 飯山市中部道路委員会(区役員等による)から毎年要望があり、 事故を受け要望が強まってきている。										
120	(一)中野小 が 布施線 えんとく 延徳 (中野市)	道路築造工 L = 320m W = 6.0(9.75)m 〔工期: H23 ~ H27〕	路線測量 1式 詳細設計 1式	橋梁詳細設計 1 式 用地測量、物件 調査 1式	道路築造工 L=320m W=6.0(9.75)m	評価時 (当初) H23	2%	計画通り進んでいる。 幅員狭小・歩道未設置区間の解消に向け、 事業を推進する。	人家連単地区内の幅 員狭小区間の解消を 目指し、生活道路とし ての安全を確保する ため継続して事業を 実施したい。	緊急性は認められ る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし B/C(費用対効果)= 3.6				
						重要性 C					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。										

分野	補完的な道路の整備	事業番号、事業名	86 県単道路改築			補助・単独別	単独	建設部 道路建設課			
番号	みりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
合計	120箇所	236億5366万5千円	33億739万2千円	27億2160万8千円	137億1945万4千円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				